

学級
通信ロマンと
ソロバンissue 3
1999.6.2

(財)大学コンソーシアム京都インターンシップ・プログラムNPOコース事務局

前回のおさらい

第3回目のスクーリングは1週間ぶりに教室で行いました。とはいえ第3回。まだ教室でのスクーリングは1回しかしていませんでしたね...。「NPOスクール言語表現基礎I - 動機の明確化とテーマの設定 - 」と題して、社会やNPOスクールでの学びにあたって、必要なものは何かを問う、そんな講義でした。

18:30 ~ 学校長講話 (中村)

18:35 ~ NPO クイズ (中村)

~ 18:50 パーソナルワーク

~ 19:10 グループワーク

19:30 ~ NPO 活動ケーススタディ

19:55 ~ まとめ (中村)

次回はプレゼンテーション

19:55 ~ 連絡事項・感想文記入

パソコン講座・草津イベント案内・JUCEE 講演会案内

20:00 ~ 談話室にてサロン

「NPOは必ずミッションを掲げて、何か目的があって集まっているわけです。目的があって集まっているわけですから、必ず何か社会的な活動をしているはずなんです。ですから団体のミッションを自分なりに分析して下さい。(中略) ミッション・事業・資金調達・情報公開、そのようなプロセスの中できちんと活動ができていいるか、そんなことを含めて、ぜひNPOとは何か、NPOでインターンするとは何かを考えておいて下さい。」(レクチャーより)

NPOでインターンをするのがこのNPOスクールです。では逆にみなさんはなぜNPOでインターンをするのでしょうか？ その「動機」と「テーマ」が団体でも問われます。「なぜあなたはNPOでインターンをするのか」という団体からの質問に答えられるようにしておく必要があります。

そんな思いがあって「NPOクイズ」をしました。ずらりと並んだ38の団体に関して、1)NPOである、2)名称だけでは判断がつかない、3)NPOではない、の3つの判別をしました。パーソナルワークの後、グループでディスカッションをしました。知識も経験もまだまだ少ない状態ですから、細かい法制上の枠組みといった根拠を打ち出して議論をすることはできませんでした。しかし、今回議論をしました。これからは「不特定かつ多数の利益」「収益事業は可能だが利益の配分をしない」「国境を越えても構わない」「非政府」などの定義をもとに考えられるようになるといいですね。

続いて行ったのが、「NPO活動ケーススタディ」です。2つ用意しましたが、「点訳ボランティアのグループが直面したジレンマ」についてディスカッションしました。前回はインターン活動におけるジレンマについて議論をしましたが、今回はうまく自分の意見を人に伝えることができましたか？今日は先回の議論をまとめた上で各グループのプレゼンテーションを行います。他人に伝わるように組み立てて発表をしましょう。

data sheet NO.3 (5/26)	内容：グループワーク + マッチング	欠席：新野くん(教育実習)
	NPO クイズ + NPO 活動ケーススタディ	ゲスト：なし
	課題：言葉を調べておく	オブザーバー：岡山さん・中島くん(一期生)

感想文から

まず、「今あなたのNPOスクールの信号は何色ですか？」という質問に対する回答。一番多かったのは「青」(12名)、続いて「黄色」(5名)、「黄色と青の間(黄緑、緑、『青の点滅』を含む)」(5名)、そして「赤」(4名)。赤信号の皆さんの理由は何でしょうか。ここまでのゼミで、知識、表現力の不足を痛感したからでしょうか。

「無知の知」を説いたのはソクラテスです。「自分が無知だった」ということに気づくことは、学びの過程における最初の、そして最も大きな一歩であると言えるでしょう。そして、こうした力は、机上の学びで得ることはできません。皆さんはこれから具体的に活動を開始するわけですが、知識不足で恥をかき、表現力不足で誤解を招き、苦悶することもあると思います。でも、本当の学びの契機はそこです。ガダマーは、「本来的経験とは否定的経験である」と言いました。

前回の講義では、中村先生の「NPOが善とは限らない」という言葉にインパクトを感じた人が多かったようです。この命題、皆さんが実際にNPO活動をする中でじっくり向き合ってみてください。この言葉は、「『有限会社無償福祉サービス』はNPOではない」といった「教えることが可能な『知識』」とは違います。この言葉をどう解釈するかは、皆さん一人ひとりの経験によって異なってくるわけで、つまり、答えは皆さんの中にあるのです。

さて、「NPOスクール信号」、青・黄・赤以外の答えを見てみましょう。「白」「ベージュ」「グレー」、そして「虹色」「七色!?点滅!!」なんてのもありました。八方ふさがりになる前に、スタッフへの「ほうれんそう」を忘れずに！

(竹花 由紀子)

事務局からの連絡

電子会議室システムが稼働します

NPOスクールのWebSiteの中に、2期生専用の電子会議室を設けます。先週アドレスは紹介しましたが、(<http://www.jca.apc.org/~ohbora/cgi-bin1999/kaigishitsu/>)と紹介しましたが、パスワード等をお知らせするのを忘れてしまいました。今回講義にて発表します。ごめんなさい。

今年のレポート集をお配りします

1期生の活動をまとめたレポート集「もうひとつのキャリア・デザイン」をお配りします。ただし、実費負担をお願いします。一冊2,000円でおわけします。この負担がどうして...という方は事務局に相談して下さい。お手伝い(=労働)との交換で渡すことも考えています。(何のお手伝いかと言うと...レポート集の増刷です)

学級通信「ロマンとソロバン」に意見をどうぞ

みんなでこのニュースレターをおもしろくしていきましょう。感想・情報提供・おしかり・励まし・質問など、事務局まで寄せて下さい。

(財)大学コンソーシアム京都 インターンシップ・プログラム NPO コース
「NPOスクール」ニュースレター <学級通信「ロマンとソロバン」> 1999.6/2 第3号

編集長：山口 洋典 編集：赤澤 清孝・桜井 政成・竹花 由紀子・春山 文枝 発行：中村 正

< NPO スクール事務局 >

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 立命館大学研究支援センター気付

TEL/FAX.075-465-1979

E-mail.ohbora@jca.ax.apc.org

URL.<http://www.jca.ax.apc.org/ohbora/>

< 財団法人 大学コンソーシアム京都事務局 (担当：武田) >

〒602-0047 京都市上京区新町通今出川上ル同志社大学新町校舎臨光館3階

TEL.075-251-4685

FAX.075-251-4687

URL.<http://manzoku.topica.ne.jp/daicen>